

会 議 録

会議名称	平成30年度 第1回加古川市スポーツ推進審議会
開催日時	平成30年6月28日(木) 午後4時00分から午後5時30分まで
開催場所	鹿兒川荘 201・202 会議室
出席者	<p><委員> 高見会長、伊藤委員、戎木委員、松野委員、堀委員、小寺委員、工藤委員</p> <p><市> 田淵教育長、大西部長、平田次長、塩谷課長、福島課長 大山担当課長、川上副課長、小口担当副課長、飯塚主事</p>
会議次第	<p>開 会</p> <p>1 会長あいさつ</p> <p>2 委嘱状及び任命通知書の交付</p> <p>3 教育長あいさつ</p> <p>4 報告事項</p> <p style="padding-left: 20px;">・加古川市スポーツ推進計画について</p> <p>5 審議事項</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 加古川市スポーツ振興基本計画後期アクションプラン進捗状況について</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 加古川市スポーツ推進計画の関連事業一覧について</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) その他</p> <p>閉 会</p>

審議内容（発言者、発言内容、審議経過等）	
開 会	
1 会長あいさつ	会長あいさつ
2 委嘱状交付	委嘱状及び任命通知書の交付
3 教育長あいさつ	教育長あいさつ
4 報告事項	<p>・加古川市スポーツ推進計画について</p> <p><事務局説明></p>
(会長)	概要版はどのようなところに配布しているのか。
(事務局)	公共施設及び市のホームページに掲載している。

(会長)	スポーツネットワーク委員会委員の方を対象に、スポーツ推進計画の勉強会を開催してはどうか。市のスポーツ推進の中心であるスポーツネットワーク委員会委員の方に内容を知ってもらうべきである。
(委員)	スポーツネットワーク委員会の委員は、各3団体の会長・副会長のみになるので、勉強会を開催しても情報が止まってしまう恐れがある。勉強会をすることは必要だと思うので、各団体それぞれで勉強会を開催してはどうか。
5 審議事項 (事務局)	(1) 加古川市スポーツ振興基本計画後期アクションプランの進捗状況について ＜事務局説明＞
(会長)	ホストタウン推進事業にて、2020年に向けて進めていくのは良いが、終了後も加古川市に根付いていくことが大事である。東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に加古川市のスポーツを盛り上げてほしい。 また、「播磨圏域連携中枢都市連携事業」において、ぜひスポーツ婚活を取り上げてほしい。参加者にとっても、加古川市だけでなく他市の方との良い交流機会になると思う。
(事務局)	(2) 加古川市スポーツ推進計画の関連事業一覧について ＜事務局説明＞
(委員)	計画の中には、市民の皆様が健康でいてもらえるような施策もたくさんあるので、より多くの市民に見てもらうことが大事である。情報発信に力を入れてほしい。
(会長)	情報発信というと、どのような手立てがあるのか。
(事務局)	スポーツ関係団体への周知、スポーツサポーター養成講座へ参加される方へは必ず周知をしたいと考えている。
(委員)	加古川市では大きなスポーツイベントがたくさんあるので、それらを活用してはどうか。
(会長)	SNSを活用するのはどうか。
(事務局)	加古川市のFacebook、Twitterはあるが、スポーツに特化したものはない。今後、スポーツに関しては、ホストタウン等の情報も市のホームページ

	<p>ジに積極的に掲載したいと考えている。</p>
(会長)	<p>市民の方に計画をそのまま渡してもどうしても情報過多になってしまう。スポーツ団体の中枢を担う方々にまず計画を知ってもらい、それをかみ砕いて市民の方に伝える役割をお願いしたい。</p>
(事務局)	<p>市の様々なイベント等で計画をA4一枚にまとめたものを配付できれば、市民の方にも分かりやすいので、検討する。</p>
(会長)	<p>新規事業で、「学校体育施設等の開放」が挙げられているが、中学校の部活動が制限される等の関係で、学校の体育館を使用する形が変わると考えるが、今後の部活動のあり方について教えていただけないか。</p>
(事務局)	<p>今年の3月にスポーツ庁が、「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を示し、その中で部活動に関しては、1週間のうち、平日は少なくとも1日はどこかで休むこと、また休日も少なくとも土・日どちらか1日は休むことといったガイドラインを発表した。加古川市においても、ガイドラインを踏まえ対応を検討していく。</p> <p>小学校の体育館は開放されていたが、今後は中学校においても部活動がない日は開放するようにしたい。</p>
(会長)	<p>学校開放を上手に活用すれば、市民の方の活動場所が増え、学生にとっても、部活以外のスポーツに関わる機会が増えると考えます。</p>
(委員)	<p>部活動支援事業として、加古川市において外部技術指導者の基準はあるのか。</p>
(事務局)	<p>特に基準は設けていない。</p>
(委員)	<p>各種目の経験者や部活動の時間に余裕がある方をお願いをしている。</p>
(委員)	<p>今後、スポーツクラブ等へ依頼する際には、何か基準があっても良いのではないかと考える。</p>
(会長)	<p>体育協会では、部活動の受け皿はあるのか。</p>
(委員)	<p>今の段階では、受け入れ態勢はない。協会員個人への依頼はあるかもしれないが、体育協会としては基盤はない状態である。</p>

(会長)	スポーツクラブはどうか。
(委員)	スポーツクラブでの方針には、毎年中学校の部活動への参入という柱が挙げられているが、実現できていない。
(会長)	今後は中学校の部活動へも対応できるような、ネットワークが重要である。
(委員)	学校を卒業してスポーツをする機会が少ないといった話をよく聞くが、兵庫県障害者スポーツ指導者協議会へ依頼をすれば、出前講座は可能であるので、機会の提供は行うことができる。
(会長)	加古川市でスペシャルオリンピックスは行っているか。
(委員)	加古川市ではしていない。この辺りだと姫路市、播磨町が行っている。
(会長)	障がい者スポーツは現在、本当に取り組むべきものであるなので、ぜひ2020年へ向けて様々な団体が取り組んでほしい。
閉 会	